2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　　ノイルイミューン・バイオテック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4893　　ＵＲＬ　https://www.noile-immune.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）玉田　耕治
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　　（氏名）永井　寛子　　ＴＥＬ　03（5843）7819

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	－	－	△612	－	△557	－	△559	－
2025年12月期第３四半期	5	△8.2	△608	－	△602	－	△605	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△12.91	－
2025年12月期第３四半期	△13.97	－

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,448	3,387	98.0
2025年12月期	4,011	3,931	97.8

（参考）自己資本　　2026年12月期第３四半期　　3,380百万円　　2025年12月期　　3,925百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

当社の事業上の特性として現時点では業績に与える未確定な要素が多く、今後の見通しについては、適正かつ合理的な数値の算出が困難な状況と考えており、2026年12月期の業績予想は記載しておりません。なお、今後の事業進捗を踏まえて、合理的な開示が可能となった場合には速やかに開示いたします。また、当該理由、2026年12月期の事業方針などは添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
②　①以外の会計方針の変更　　：無
③　会計上の見積りの変更　　：無
④　修正再表示　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	43,399,118株	2025年12月期	43,301,765株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	125株	2025年12月期	125株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	43,351,564株	2025年12月期３Ｑ	43,301,685株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6
（重要な後発事象） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当社は、「がんを克服できる社会の創生に貢献する」という企業理念の下、当社の独自技術であるPRIME (Proliferation-inducing and migration enhancing)技術を用いた固形がんに対するCAR-TやTCR-Tなどの遺伝子改変免疫細胞療法およびin vivo CAR-Tなどの遺伝子治療の研究開発に取り組んでおります。

当第３四半期累計期間における当社事業の概況としまして、PRIME技術を基盤とした自社創薬事業及び共同パイプラインを引き続き推進いたしました。自社創薬事業におきましては、当社パイプラインNIB103の第Ⅰ相臨床試験において投与を実施し、進捗しております。NIB103以外の自社創薬パイプラインについては、共同開発を含めたあらゆるアプローチを介して開発の推進を目指すとともに、NIB104やNIB105の早期の臨床ステージ移行に取り組んで参ります。NIB104につきましては、国立大学法人山口大学及び国立大学法人九州大学が共同で申請した医師主導第Ⅰ相臨床試験に関する研究開発事業が、AMEDの令和８年度「橋渡し研究プログラム」に採択され、当社も連携企業として参画しております。また、当社はこれらに続く新たなパイプラインや次世代技術に関する研究について引き続き実施しております。2017年より継続している国立大学法人山口大学との共同研究においては、引き続きCAR-TやTCR-Tを中心とした次世代型遺伝子改変細胞療法、他家細胞を利用したがん免疫細胞療法、次世代型PRIME技術に関する研究を実施しております。

また、当社はin vivo CAR-Tの研究開発を積極的に推進しており、その一環として東京大学との共同研究を推進しております。当該共同研究に関して東京大学及び山口大学が共同で申請したin vivo CAR-T療法に関する共同研究事業がAMEDの令和８年度「次世代がん医療加速化研究事業」に採択されております。さらに、当社はＴ細胞を標的とする独自の新規ウイルスベクターを開発し、これを活用したin vivo CAR-Tをはじめとする研究開発に取り組んでおります。

なお、当社の取り組む事業に対しては、山口県の「令和７年度やまぐち再生医療等実用化・産業化推進補助金事業」及び宇部市の「宇部市再生医療等先端的研究開発実用化推進補助金」の支援を受けております。

共同パイプラインにおきまして、従前よりPRIME技術をライセンスしている Autolus therapeutics plc及び中外製薬株式会社による研究開発が引き続き進行しております。

また、当社は、既存CAR-Tの価値及び競争力をさらに高めるとともに、in vivo CAR-Tを新たな成長機会として本格的に推進するための追加的な成長投資資金を確保することを目的として、2026年９月18日付の取締役会において、岡三証券株式会社を割当先とする第三者割当による第14回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行を決議いたしました。当該新株予約権の発行及び行使により調達する資金は、in vivo CAR-Tの研究開発、NIB103の臨床開発、NIB104及び次世代製法の研究開発に充当する予定です。なお、当第３四半期会計期間末後の2026年10月５日に、当該新株予約権の発行価額の払込みが完了しております。

以上の結果、当第３四半期累計期間における事業収益の計上がなかった（前年同期は5,000千円）一方で開発の継続により、営業損失は612,572千円（前年同期は608,705千円の営業損失）、経常損失は557,675千円（前年同期は602,306千円の経常損失）、四半期純損失は559,490千円（前年同期は605,102千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期会計期間末の総資産は3,448,877千円となり、前事業年度末に比べ562,701千円減少しました。これは主に、前渡金が31,254千円、前払費用が3,191千円増加した一方、現金及び預金が584,657千円、未収消費税等が12,306千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期会計期間末の負債は61,825千円となり、前事業年度末に比べ17,814千円減少しました。これは主に、未払金が3,419千円増加した一方、未払費用が10,395千円、未払法人税等が11,142千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期会計期間末の純資産は3,387,052千円となり、前事業年度末に比べ544,887千円減少しました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が559,490千円減少し、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金が7,301千円、資本剰余金が7,301千円増加したこと等によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、NIB103の第Ⅰ相臨床試験に取り組んでおり、当該試験における患者への投与を開始し進捗しております。引き続きNIB103の開発を推進して参ります。なお、NIB103以外の自社創薬パイプラインについては、共同開発を含めたあらゆるアプローチを介して開発の推進を目指すとともに、NIB104やNIB105の早期の臨床ステージへの移行に取り組んで参ります。特に、NIB104につきましては、国立大学法人山口大学及び国立大学法人九州大学と連携し、医師主導第Ⅰ相臨床試験に関する研究開発を実施しております。また、当社はin vivo CAR-Tに関する研究開発をはじめとして、新たなパイプラインや次世代技術に関する研究について引き続き実施しております。共同パイプラインについては、既存のパートナーとのプロジェクトを推進するとともに、新たなパートナーとの提携を目指しております。しかしながら、当社の事業はパートナーによる事業の進展状況や新たなライセンス契約による事業収益等によって業績が大きく変動する可能性があります。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第３四半期会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,918,321	3,333,664
貯蔵品	2,154	2,675
前渡金	14,187	45,441
前払費用	21,604	24,795
未収入金	4	－
未収消費税等	26,186	13,879
その他	980	1,493
流動資産合計	3,983,440	3,421,950
固定資産		
投資その他の資産		
長期前払費用	4,195	3,504
差入保証金	23,943	23,422
投資その他の資産合計	28,139	26,927
固定資産合計	28,139	26,927
資産合計	4,011,579	3,448,877
負債の部		
流動負債		
未払金	16,130	19,549
未払費用	31,176	20,781
未払法人税等	23,610	12,467
預り金	3,488	3,792
流動負債合計	74,405	56,591
固定負債		
資産除去債務	5,233	5,233
固定負債合計	5,233	5,233
負債合計	79,639	61,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,047,254	4,054,555
資本剰余金	4,025,098	4,032,399
利益剰余金	△4,147,239	△4,706,730
自己株式	△20	△20
株主資本合計	3,925,092	3,380,204
新株予約権	6,847	6,847
純資産合計	3,931,939	3,387,052
負債純資産合計	4,011,579	3,448,877

（２）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
事業収益	5,000	－
事業費用		
研究開発費	288,024	267,521
その他の販売費及び一般管理費	325,680	345,051
事業費用合計	613,705	612,572
営業損失（△）	△608,705	△612,572
営業外収益		
受取利息	6,404	9,749
補助金収入	－	45,000
為替差益	－	129
その他	12	17
営業外収益合計	6,416	54,896
営業外費用		
為替差損	17	－
営業外費用合計	17	－
経常損失（△）	△602,306	△557,675
税引前四半期純損失（△）	△602,306	△557,675
法人税、住民税及び事業税	2,795	1,815
法人税等合計	2,795	1,815
四半期純損失（△）	△605,102	△559,490

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであり、セグメント情報の記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第３四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額の計上はありません。

（重要な後発事象）

１．第三者割当による第14回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行

当社は、2026年9月18日開催の取締役会において、岡三証券株式会社を割当先とする第三者割当による第14回新株予約権（行使価額修正条項付）（以下「本新株予約権」といいます。）の発行を決議し、2026年10月５日に発行いたしました。

（１）発行の目的及び理由

当社は、最優先パイプラインNIB103の第Ⅰ相臨床試験を進めるとともに、後続パイプラインの臨床ステージへの移行及びCAR-T細胞の次世代製法の開発を推進しております。本新株予約権の発行は、既存パイプラインの着実な進展に必要な資金を確保するとともに、患者体内でCAR-T細胞を直接誘導するin vivo CAR-Tをはじめとする次の成長機会への投資を本格化するための研究開発資金を調達することを目的としております。

（２）本新株予約権の概要

名称	ノイルイミューン・バイオテック株式会社第14回新株予約権（行使価額修正条項付）
割当日（払込期日）	2026年10月５日
新株予約権の総数	100,000個（新株予約権1個につき100株）
発行価額	総額1,400,000円（新株予約権1個につき14円）
当該発行による潜在株式数	10,000,000株（新株予約権1個につき100株） 上限行使価額はありません。下限行使価額（81円）においても潜在株式数は10,000,000株であります。
調達資金の額	総額1,361,400,000円（差引手取概算額1,349,400,000円） （注１）調達資金の額は、本新株予約権の発行価額の総額に、当初行使価額（発行決議日の直前取引日の東証終値）で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の行使に際して払い込むべき金額の合計額を合算した金額であります。本新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合には、調達資金の額は減少します。 （注２）本新株予約権の行使価額は行使時点における当社普通株式の株価水準に連動して修正されるため、調達資金の額は変動いたします。
行使価額及び行使価額の修正条件	当初行使価額は136円とします。 行使価額は、本新株予約権の各行使請求の効力発生日（以下「修正日」といいます。）の直前取引日の東証における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の終値）の95%に相当する金額の1円未満の端数を切り捨てた金額（以下「修正日価額」といいます。）が、当該修正日の直前に有効な行使価額を1円以上上回る場合又は下回る場合には、当該修正日以降、当該修正日価額に修正されます。但し、修正後の行使価額が下限行使価額である81円を下回ることとなる場合には、行使価額は下限行使価額とします。
行使期間	2026年10月６日から2028年10月５日まで
募集又は割当方法（割当先）	岡三証券株式会社に対する第三者割当方式
新株予約権の行使により株式を発行する場合の増加する資本金及び資本準備金	増加する資本金の額は、会社計算規則第17条の定めるところに従って算定された資本金等増加限度額に0.5を乗じた金額とし、計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額とします。増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額より増加する資本金の額を減じた額とします。
その他	当社は、割当先との間で締結した第三者割当契約に基づき、本新株予約権の全部又は一部につき行使することができない期間を指定することができます。また、本新株予約権の譲渡には当社取締役会の承認を要します。

（３）資金の使途

差引手取概算額1,349百万円については、in vivo CAR-Tの研究開発費（600百万円）、NIB103の臨床開発費（500百万円）、NIB104の研究開発費（125百万円）及び次世代製法の研究開発費（124百万円）に、2027年1月から2029年12月までの間に充当する予定であります。

２．新株予約権の行使による増資

2026年10月６日以降、2026年10月31日までの間に、本新株予約権の一部について以下のとおり権利行使が行われております。

（１）発行した株式の種類及び株式数	普通株式1,410,000株
（２）行使新株予約権個数	14,100個
（３）行使価額総額	125,820千円
（４）増加した資本金の額	63,008千円
（５）増加した資本準備金の額	63,008千円

（注）１．（４）増加した資本金の額及び（５）増加した資本準備金の額には、新株予約権の振替額98千円がそれぞれ含まれております。

２．上記の新株予約権の行使による新株の発行の結果、2026年10月31日現在の発行済株式総数は44,809,118株、資本金は4,117,564千円、資本準備金は4,095,408千円となっております。